

# 千葉市高齢者保健福祉推進計画・第8期介護保険事業計画の概要

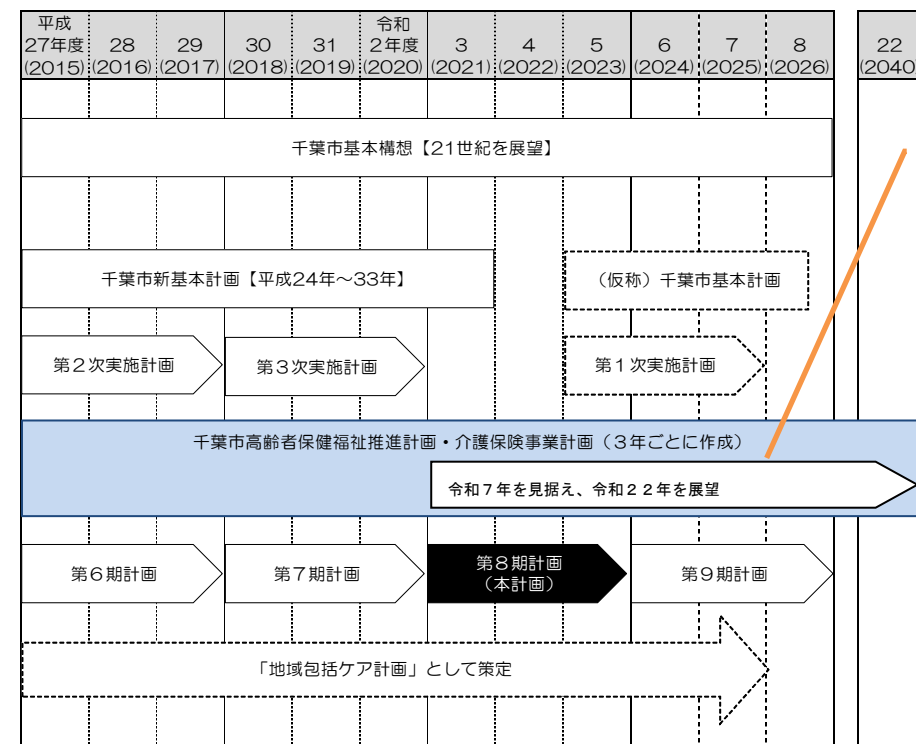
## 1 計画策定の趣旨

本市では、「高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る」を目標とし、可能な限り住み慣れた地域で高齢者が自立した生活を送れるよう、その人の状態に応じて、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築・強化を図ることに重点をおき、介護保険事業の適切かつ円滑な運営と各種保健福祉施策を推進するため、「高齢者保健福祉推進計画・介護保険事業計画」を策定するものです。

## 2 計画の位置づけ

- 高齢者保健福祉推進計画は、老人福祉計画と介護保険事業計画を一体のものとして策定する計画です。
- 市政運営や施策の基本となる「千葉市基本構想」及び「千葉市新基本計画」の理念や将来像と方向性をともにした、高齢者分野の個別計画となります。
- 2025年問題に備えるための千葉市としての対策を講じた「千葉市中長期的な高齢者施策の指針」を踏まえるとともに、市民と行政が連携・協働して地域で支え合う仕組みづくりを推進する「支え合いのまち千葉推進計画（千葉市地域福祉計画）」をはじめ、他の関連する個別計画との連携を図るとともに、高齢者保健福祉施策の基本的方針を示すものです。

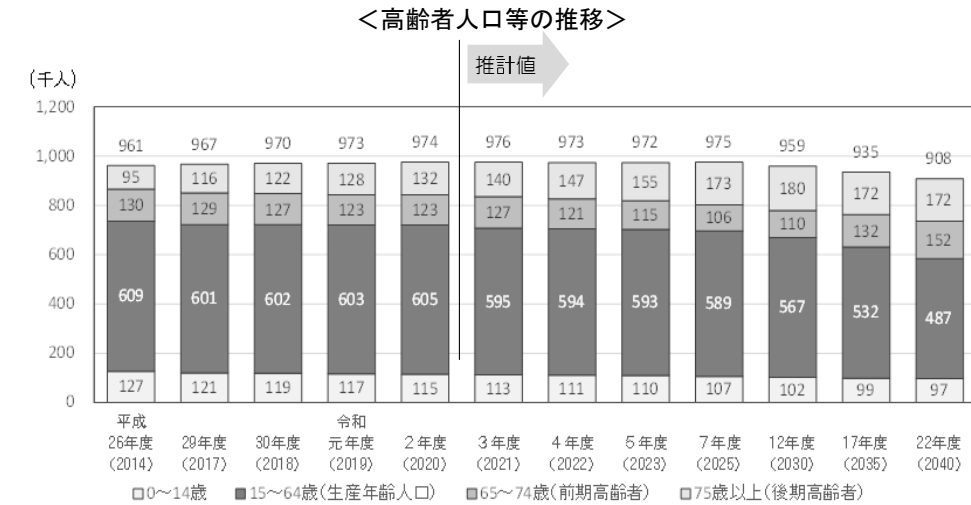
## 3 計画期間



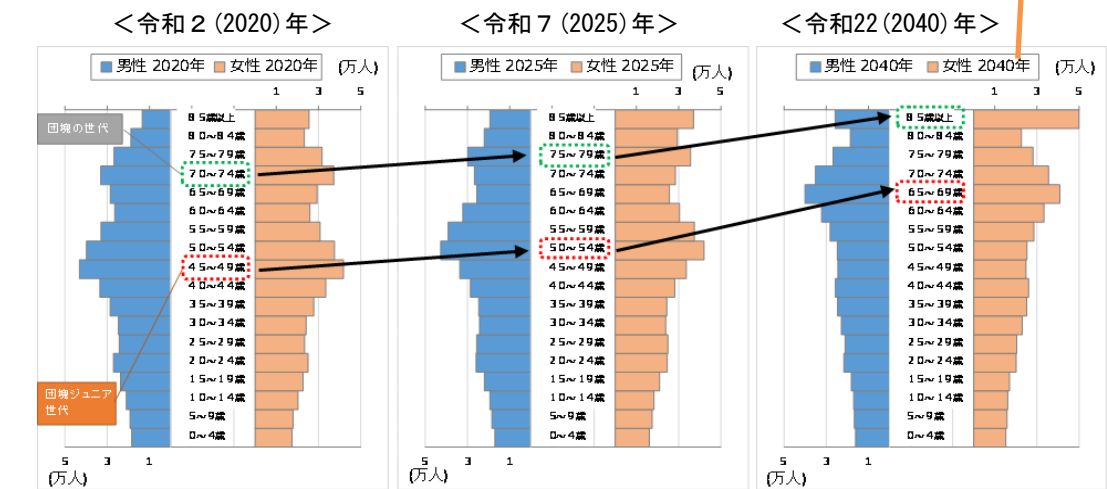
2025年度及び2040年の将来を見据えた地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進を図る計画策定

団塊の世代がすべて後期高齢者へ  
団塊ジュニア世代がすべて65歳以上へ

## 4 高齢者人口の推移



令和22(2040)年には、団塊の世代は全員85歳以上、団塊ジュニア世代が全て65歳以上。多くの高齢者が医療や介護の支援を必要とし、認知症高齢者の増加も予想される。



## 5 取組目標

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で介護や支援を要しない生活を送ることができるよう、自立支援・重度化防止の取組目標を設定し「高齢者が生きがいを持って元気でいるための地域づくり」を目指す。

- 目標① 介護・支援を要しない高齢者の増加 (対象：75歳以上85歳未満)  
令和2(2020)年度 81.7% → 令和5(2023)年度 82.5% 【認定状況により検証】
- 目標② 低栄養傾向 (BMI20以下) の高齢者の割合の増加の抑制 (対象：65歳以上)  
令和元(2019)年度 18.9% → 令和5(2023)年度 22% 【健康診査結果により検証】
- 目標③ 介護予防に資する住民主体の通いの場への高齢者の参加人数 (対象：65歳以上)  
令和元(2019)年度末 20,999人 → 令和5(2023)年度末 21,600人 【県への報告により検証】

## 6 計画のポイント

- 第8期計画では、第7期の考え方を継承したうえで、以下の3点を追加し策定。
  - 国の大綱を受け、基本方針のひとつに「認知症施策推進」を加え、本計画と一体的に策定した。
  - 近年の災害発生や新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、備えの重要性を認識し、主要施策として新たに「災害・感染症対策」を追加した。
  - 区民や関係機関等が、地域の状況を知ったうえで介護予防に取り組むよう、各区及び日常生活圏域ごとの状況を新たに追加した。
- 介護保険料として、第1号被保険者の保険料基準額(月額)を5,400円に設定した。